

樋口清之 ひがしきよ 考古學者、文學博士。明治四十一年十一月、千九百  
奈良縣生れ、平成九年一月、千一百歳（一九八一七）。昭和七年國學院  
大學史學科卒。二十年同大教授。

著書『日本原始文化史』（昭和十四年二月、千日堂書房）『日本歴史  
全書』( )、『萬葉女人—上代の女性生活』（昭和二十二年九月、千五  
白蒼明社）、『神武天皇紀元論—紀元節の正しき見方』（合著・日本  
文化研究会編、昭和二十二年二月、千一白ち花書房）、『東京の歴史』

（昭和二十六年五月、千日彌生書房）、『考古学こぼれ話』（昭和二  
十七年七月、千日學生社）『學生社新書』( )、『日本人の知恵の構造』

（昭和四十七年十一月、千日講談社）、『出身県でわかる日本人の断片』  
（昭和四十八年五月、千八百講談社）、『食べる日本史—食べ物が歴  
史を変えた』（昭和五十一年七月、千五百柴田書店）、『言葉のタネ本』

（志村和久共著、昭和五十一年五月、千日堂書房）『ゴマ・ブックス』( )、  
『日本人の履歴書』（昭和五十一年五月、千一白主婦の友社）『TOM

〇選書』( )、『逆ねじの思想—日本人、マイディア』の原典』（昭和  
五十二年十月、千五百朝日インテグニエース社）、『大和の海原』（昭

和五十四年一月、千日曲秀出版社）、『装いのこころ』（昭和五十四年  
一月、千日日本書籍株式會社）等。

『樋口清之博士の履歴書』并著作論文集の  
録』（昭和五十四年一月、千五白樋

口清之博士古稀記念事業実行委員  
會）刊。

